

7月も下旬に入りました。九州北部地方は梅雨明けしたものの、しばらくは大気が不安定なため、局所的な雷雨等も予報されています。くれぐれも災害等にはお気を付け下さい。

なお、この先の気温については、昼間は30℃以上の真夏日が続き、厳しい暑さが予報されています。夜もあまり気温が下がらず、熱帯夜の日も多くなる見込みということです。昼夜を問わず、こまめに水分を摂るなど、熱中症対策を万全に行ってください。

県議会「空港・交通インフラ調査特別委員会」委員長に就任しました。

福岡県議会『6月県議会』において、「空港・交通インフラ調査特別委員会」委員長に就任しました。

今後は、特別委員会委員長として、福岡空港と北九州空港との一体的運用と機能強化、経済・産業等の基盤となる高速交通網等の整備、公共交通等県民生活の基盤となる移動手段の充実・確保に臨むとともに、福岡市営地下鉄の延伸（地下鉄「福岡空港」駅～JR 福北ゆたか線「長者原」駅）など、県政の重要課題の実現に向け、尽力して参ります。

感染再拡大防止、「福岡コロナ警報」の見直しを決定しました。

東京都や関東圏、また大阪府や関西圏で、コロナ感染者が増加しており、「第5波」と指摘されています。感染拡大のスピードは第3波よりも早いと言われています。

これまでの「自粛疲れ」、「コロナ慣れ」ということから、日中、夜間を問わず、都心部を中心に人流が増え、県内でも、福岡市内を中心に、人出が増加しています。

本県に発出されていた「まん延防止等重点措置」が解除されたとはいえ、感染症前のように何もかも自由に、フリーに行動できるというわけではありません。

集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。また、お酒を伴う飲食の場での感染はリスクが高いと指摘されています。

従って、換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に、大人数で、長時間とどまることを避けるとともに、お酒を伴う飲食については、特に注意が必要です。

感染拡大防止に向け、引き続き、皆様のご協力をお願い致します。

【新型コロナウイルス感染症ポータルページ】

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>



原中ホームページ

1. 飲食店「感染防止認証制度について」

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/certified-shop.html>

2. 「新型コロナウイルス感染症」への対応について

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid19emergency-details.html>

3. 「新型コロナウイルス感染症」支援・相談窓口

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-support-all soudan.html>

4. 「福岡コロナ警報」の見直しについて

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/142329.pdf>

7月15日、福岡県は『新型コロナウイルス感染症対策本部会議』を開催し、「福岡コロナ警報」の見直しを決定しました。

今回の見直しは、今後、感染のリバウンドの兆候が見られた場合、直近の感染状況や医療機関への負荷の状況を踏まえて、これまで以上に迅速かつ適切な対応をとることができるよう、県民及び事業者の皆様に対する協力要請を行う県独自の目安を示すことがねらいです。

第4波の実績や変異株の影響を考えると、急激な感染拡大も想定しておく必要があり、感染拡大を感知する感度を高め、初動体制を早急に確立するため、国のステージ判断指標の数値よりも厳しい数値を設定し、機動的に対応できるようにしています。

再び『緊急事態宣言』発令とならないよう、皆様の引き続きのご協力をお願い致します。

福岡コロナ警報の見直し

- 医療機関に対して病床の準備を要請する基準として定めた「福岡コロナ警報」を見直し、県民・事業者に対する協力要請を行う基準として整理するとともに、感染状況等に応じて「福岡コロナ警報」、「福岡コロナ特別警報」の2段階に分ける。
- 各段階の発動の目安は、感染拡大時、感染収束時に分けて設定し、第4波の実績や変異株の影響を考慮し、国のステージ判断指標の数値よりも厳しい数値とする。
- ワクチンには発症予防、重症化予防とともに、感染予防効果を示唆する報告もあり、新規陽性者数や病床利用率に影響を与えらるため、ワクチンの接種状況等を踏まえ、各段階の発動の目安を適宜見直すことを検討する。

感染拡大時

※①～③の各指標を踏まえ、「注視すべき項目」の状況も加味した上で、市町村や専門家の意見も参考にして総合的に判断し、発動を決定する。
 ※「福岡コロナ警報」の発動後、国とまん延防止等重点措置の適用について協議を開始し、ステージⅢ相当(注1)に達した段階で国に要請を行う。
 ※「福岡コロナ特別警報」の発動後、国と緊急事態措置の適用について協議を開始し、ステージⅣ相当(注2)に達した段階で国に要請を行う。

主な指標	感染拡大時	
	福岡コロナ警報発動の目安	福岡コロナ特別警報発動の目安
国のステージ判断指標	ステージⅢ相当になる前	ステージⅣ相当になる前
①新規陽性者数	A. 7日移動平均(注3)の増加傾向が継続かつ B. 3日移動平均(注3)が100人/日以上に増加	A. 7日移動平均の増加傾向が継続かつ B. 3日移動平均が180人/日以上に増加
②病床利用率	15%以上 (約210~220人)	30%以上 (約420~440人)
③重症病床利用率	10%以上 (約20人)	20%以上 (約40人)
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> 変異株陽性者割合の増加傾向 県外からの人の流入の増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 変異株陽性者割合の増加傾向

注1) 7日移動平均が109人/日以上、病床利用率が20%以上など
 注2) 7日移動平均が182人/日以上、病床利用率が50%以上など
 注3) 直近7日間(3日間)の新規陽性者数の合計を7(3)で割った数。3日移動平均の方が感染拡大の兆候をより迅速に捉えることが可能。